

# 発掘現場・出土品整理 インフォメーション

ぼくは川尻中村遺跡(相模原市)の はちまき土偶はっちはです。発掘調査や出土品整理中の遺跡の紹介をします。



## 東富岡・西之窪遺跡 (ひがしとみおか・にしのくぼいせき)

(所在地)	伊勢原市	(時代)	奈良・平安時代、中世、近世	(調査期間)	2009年5月～2010年2月
-------	------	------	---------------	--------	-----------------

遺跡は伊勢原市北東部「市民の森ふじやま公園」のある富岡丘陵の東裾に位置します。調査は中日本高速道路株式会社による第二東名高速道路建設に伴う事前調査として実施されました。調査区は平坦部と丘陵の斜面地に分かれます。平坦部はもともと深い谷が入り込んでおり、平安時代から中世の頃までにある程度埋まったようです。その頃から人の痕跡を見ることができます。埋まった谷の跡を斜めに渡るように、地面が硬化した部分が検出されました。人が繰り返し通った道であったと考えます。その道は15世紀前半まで繰り返し利用されていた様子が分かりました。谷の跡の東肩ではやはり15世紀前半頃と思われる井戸も検出されています。また、時期は特定できませんが、そのころまで遡る可能性もある炭焼き窯も見つかっています。今回の調査では明らかに出来ませんでしたが、谷の埋まった跡を挟んだ東側と西側を積極的に行き来する跡が確認されたことから、近くに何かしらの施設があったのではないかと想像できます。



井戸跡から出土した瓶子(2010年)

## 倉見川登遺跡 (くらみかわのぼりいせき)

(所在地)	寒川町	(時代)	弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、中世、近世	(調査期間)	2009年12月～2010年3月
-------	-----	------	-------------------------	--------	------------------

遺跡は寒川町倉見の相模川左岸の微高地に立地し、JR相模線に沿って広がっています。調査は一般国道468号首都圏中央連絡自動車道(さがみ縦貫道路)建設事業に先立ち、国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所の依頼を受け、2004年から断続的に実施しています。これまでの調査で、弥生時代から近世にかけての遺構や遺物が発見されています。今回の調査では前方後円墳と推測される周溝の一部が検出されました。溝の内側にある墳丘部分は後世の土地利用の際に失われてしまい、埋葬施設は発見できませんでした。遺物は溝の上部から埋葬された人が身につけていたと思われる金で装飾した青銅製の耳環(耳飾り)1点が出土した他、溝の中から高冠や甕といった土器片が数多く見つかっています。古墳の他には弥生時代から古墳時代の堅穴住居跡が数軒発見されています。



周溝と耳環(2010年)

## 横浜市金沢区No.66遺跡(よこはましきなざわくなんばー66いせき)

(所在地)	横浜市	(時代)	近世	(調査期間)	2009年9月～12月
-------	-----	------	----	--------	-------------

遺跡は横浜市金沢区六浦二丁目の丘陵に樹枝状に入り込む谷の谷頭にあります。調査は横浜治水事務所による仲東地区急傾斜地崩壊対策事業に伴って実施されました。その結果、近世の石塔とその下部の墓坑が発見されました。石塔は計165基見つかりました。石塔に記された年号をみると「承応元年」(1652年)と彫られたものが最も古く、多くが江戸時代中期から後期のものです。石塔を取り除くとその下に墓坑があり、その穴の中から土葬された人骨や骨壺に収められた火葬骨が発見されました。これらの人骨は合計11体分でした。人骨に伴って出土した副葬品である陶磁器や銭貨の多くが18世紀後半のもので、この時期に埋葬されたことがわかります。これは上にあった石塔の時期とほぼ同じ時期のものです。しかし、多くの場合、上にある石塔と下で発見された墓穴の位置が合いません。これは、上にあった石塔が元の位置から動かされて、あとで並べられたことを示しています。すべての石塔が動かされたかどうかは今後の出土品整理作業で明らかになるでしょう。



石塔とその下部の墓坑(2009年)

## こんなものでたよ

最近の調査で出土した注目される遺物の紹介コーナーです。

今回は海老名市河原口坊中遺跡から出土した古墳時代の遺物です。

### 多又鋤

古い河の跡から出てきた木製の鋤。柄付きでフォークのように先が4本分かれています。長さは約60cm、幅は先端部でも15cmくらい。歯の部分の厚さは1cm以下と大変薄く、歯幅は根本で約3.2cm。柄は別の部品と組み合わせて長くして使用した可能性を考えられます。全体的には薄づくりで華奢な印象、なで肩のため地面に踏み込んで使用するには向きません。どうやって使用していたのか、当時(古墳時代前期)の人間に聞いてみたい一品。先端は失っていますが、近くでもう1つ出土しています。



出土状況(2009年)